

高知県感染症発生動向調査（週報）

2012年 第37週（9月10日～9月16日）

★ お知らせ

○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の0.27から0.67と増加しました。潜伏期は2～5日ですが、潜伏期での感染性については不明です。突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。予防としては、患者との濃厚接触をさけることが最も重要で、うがい、手洗いなどの一般的な予防法も励行しましょう。

○ 水痘に注意して！

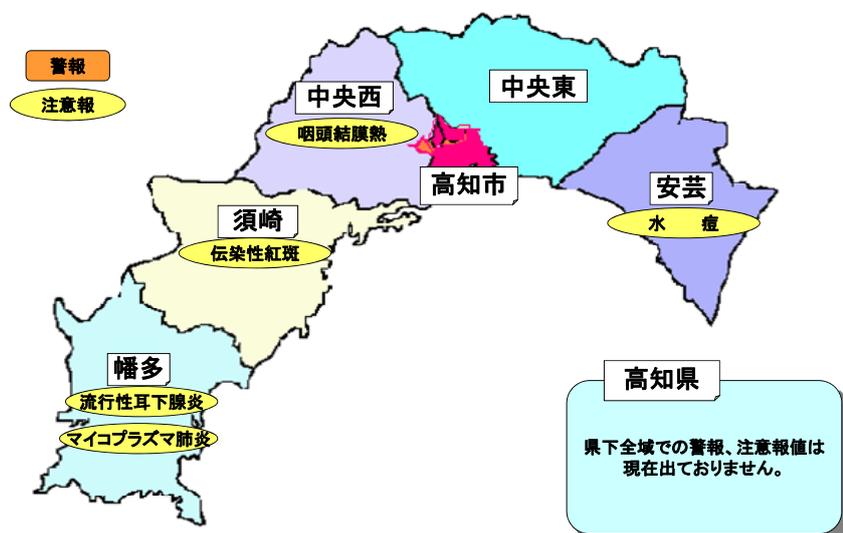
定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の0.47から0.80と増加しました。臨床経過は一般的に軽症で、倦怠感、掻痒感、38度前後の発熱が2～3日間続く程度であることが大半です。成人ではより重症になり、合併症の頻度も高くなります。ヒト-ヒト感染によるので、その予防は感染源のヒトとの接触をさけることが重要です。水痘には予防接種があります。1歳以上で受けられますが、任意接種ですのでかかりつけの医師に相談しましょう。

★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数（人）	県内の傾向
感染性胃腸炎		1. 50	中央西、中央東で増加したが、全体では減少している。
ヘルパンギーナ		0. 90	須崎、安芸で増加したが、全体では減少している。
水痘		0. 80	幡多、須崎、安芸、高知市、中央東で増加し、安芸では注意報値を超している。全体でも増加している。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0. 67	高知市、幡多、中央東で増加し、全体でも増加している。
流行性角結膜炎		0. 67	高知市で増加した。

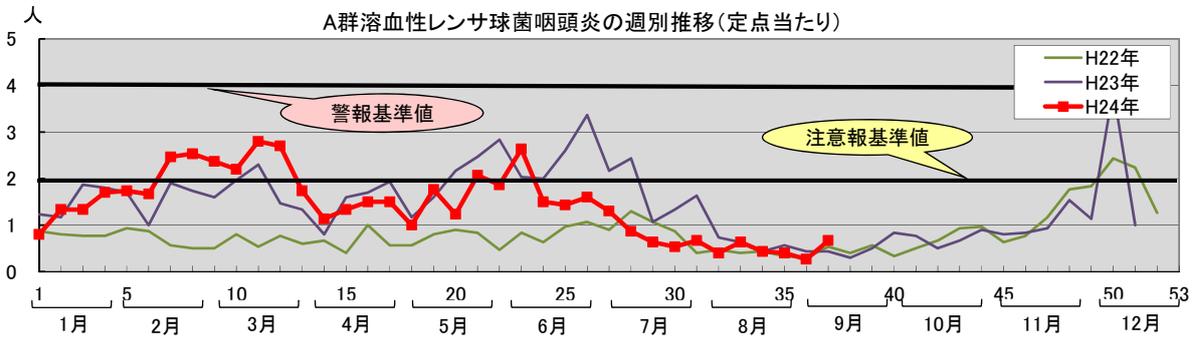
★ 地域別感染症発生状況



★ 気を付けて！

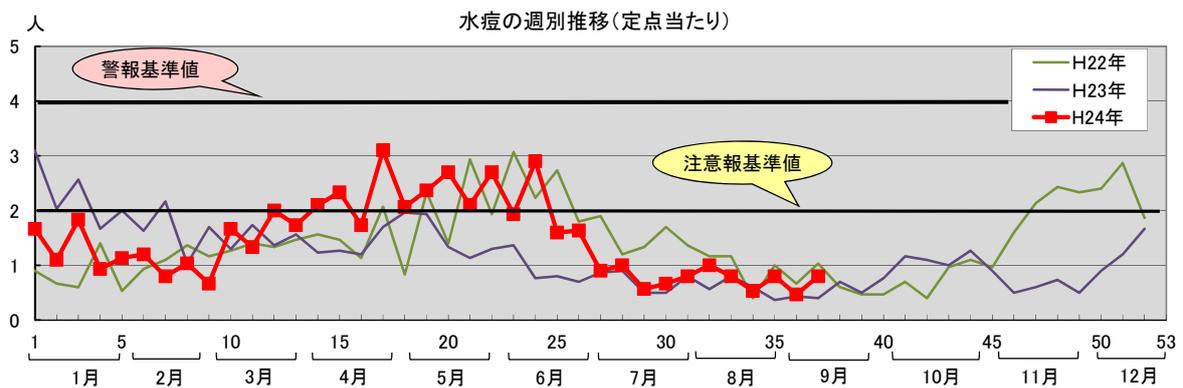
○ **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：0.67**（注意報値：2.00 警報値：4.00）

定点医療機関からの報告は定点当たり 0.67（前週：0.27）と約 2 倍に増加した。高知市（1.18）、幡多（0.80）、中央東（0.29）で増加している。感染を上げないために、手洗い、うがいを行いましょう。



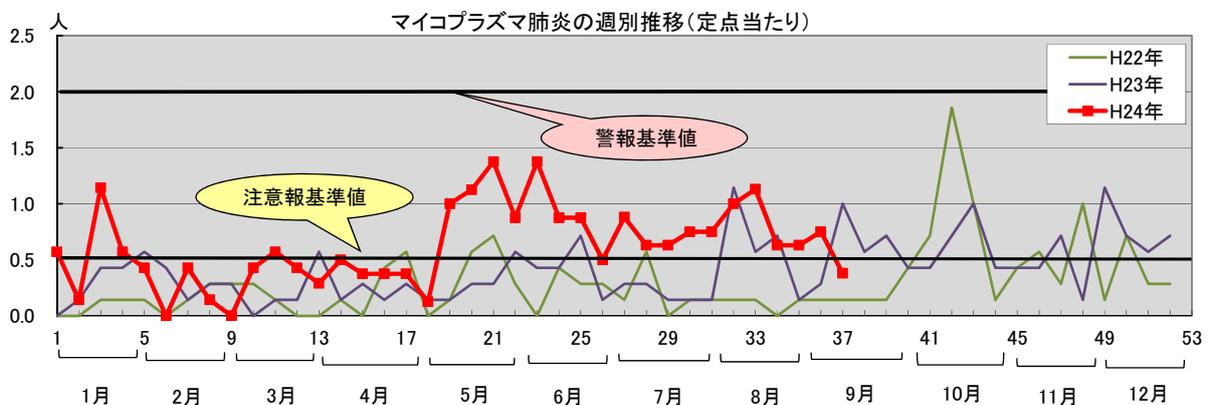
○ **水痘：0.80**（注意報値：2.00 警報値：4.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり 0.80（前週：0.47）と増加した。幡多（1.40）、須崎（0.50）安芸（2.50）、高知市（0.82）、中央東（0.29）で増加し、安芸では 3 週連続注意報値を超している。予防法としては、患者との接触を避けることが重要です。



○ **マイコプラズマ肺炎：0.38**（注意報値：0.50 警報値：2.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり 0.38（前週：0.75）と減少したが、幡多では注意報値を超している。病原体定点からは、肺炎マイコプラズマ (*Mycoplasma pneumoniae*) が 10 例検出されており、報告定点以外の医療機関からも患者情報が多数報告されている。予防としては、手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行と、患者との濃厚な接触を避けるように気を付けましょう。



★ 病原体検出情報

前週搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
37	無菌性髄膜炎	4	男	高知市	Adenovirus NT
37	気管支炎	1	女	中央東	Coxsackievirus A12
37	ヘルパンギーナ	1	女	須崎	Coxsackievirus A2
37	不明発疹症	2	男	須崎	Coxsackievirus A9
37	気管支炎	1	女	中央東	Parainfluenza virus 3
37	上気道炎	6	男	高知市	Rhinovirus
37	急性細気管支炎	2ヶ月	女	中央東	Rhinovirus
37	百日咳	8ヶ月	男	中央東	<i>Bordetella pertussis</i>
37	百日咳	7	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
37	百日咳	1	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
37	百日咳	7	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
37	マイコプラズマ肺炎	3	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
37	マイコプラズマ	6	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
37	マイコプラズマ	6	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
37	マイコプラズマ肺炎	8	女	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
37	マイコプラズマ	4	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
37	百日咳	1ヶ月	男	安芸	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
37	マイコプラズマ	9	女	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
37	マイコプラズマ	5	女	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
37	マイコプラズマ	11	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
37	気管支炎	2	男	中央東	Respiratory syncytial virus B

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
36	-	1	男	中央東	Rhinovirus
36	不明発疹症	4	女	須崎	Rhinovirus
36	サルモネラ敗血症、胃腸炎	6ヶ月	男	幡多	<i>Salmonella Virchow</i>
36	肺炎	1	女	中央東	Respiratory syncytial virus B

* 「保健所」について、患者の居住地を管轄する保健所名を記載する。

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	2	106	20歳代(女)	安 芸
				60歳代(女)	幡 多
3類	腸管出血性大腸菌感染症	1	4	10~14歳代(女)	高知市
4類	レジオネラ症	1	7	50歳代(男)	須 崎

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	早明浦病院小児科	アデノウイルス感染性肺炎1例(10ヶ月男) マイコプラズマ肺炎2例(3歳男、女) 感染性胃腸炎下痢性大腸菌O-18 1例(3歳男)
	あけぼの小児クリニック	マイコプラズマ肺炎2例(9、12歳) 百日咳1例(8ヶ月 LAMP法陽性、DPT×3済み)
	吉本小児科	キャンピロバクター1例(3歳男) マイコプラズマ1例(5歳女)
高知市	けら小児科・アレルギー科	カンピロバクター腸炎1例(8歳男) マイコプラズマ肺炎3例(7、12、14歳女) 先週 病原大腸菌(O-157)腸炎1例(13歳女)
	福井小児科・内科・循環器科	マイコプラズマ肺炎2例(2、4歳女)
須 崎	もりはた小児科	マイコプラズマ肺炎1例(10歳女) アデノ扁桃炎1例(1歳男) 36w百日咳2例(1、7歳)

★ 全国情報

第35週 (8/27～9/2)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核358例

3類感染症：細菌性赤痢8例、腸管出血性大腸菌感染症162例、腸チフス1例、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎1例、つつが虫病1例、デング熱8例、日本紅斑熱5例、マラリア6例、ライム病1例、レジオネラ症12例

5類感染症：アメーバ赤痢7例、ウイルス性肝炎3例、急性脳炎2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例
後天性免疫不全症候群18例、梅毒16例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、
風しん65例、麻しん4例、ジアルジア症1例、髄膜炎菌性髄膜炎1例

報告遅れ：デング熱3例、マラリア1例、レジオネラ症1例、急性脳炎5例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症
2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

◆マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマ (*Mycoplasma pneumoniae*) を病原体とする呼吸器感染症である。感染経路としては、飛沫感染による経気道感染や、接触感染によって伝播すると言われている。感染には濃厚接触が必要と考えられており、保育施設、幼稚園、学校などの閉鎖施設内や家庭などでの感染伝播はみられるが、短時間の曝露による感染拡大の可能性はそれほど高くはない。潜伏期間は2～3週間とインフルエンザやRSウイルス感染症等の他の小児を中心に大きく流行する呼吸器疾患と比べて長く、初発症状は発熱、全身倦怠、頭痛などである。本症の特徴的な症状である咳は、初発症状発現後3～5日より始まることが多く、乾性の咳が経過に従って徐々に増強し、解熱後も長期にわたって(3～4週間)持続する。喘息様気管支炎を呈することは比較的多く、急性期には40%で喘鳴が認められる。以前はマイコプラズマによる肺炎は、比較的元気で一般状態も悪くないことが特徴であるといわれていたが、重症肺炎となることもあり、胸水貯留は珍しいものではない。他に合併症としては、中耳炎、無菌性髄膜炎、脳炎、肝炎、睪炎、溶血性貧血、心筋炎、関節炎、ギラン・バレー症候群など多彩なものが含まれる。

治療は抗菌薬投与による原因療法が基本であるが、*Mycoplasma pneumoniae* は細胞壁を持たないために、β-ラクタム系抗菌薬には感受性はない。これまでは蛋白合成阻害薬であるマクロライド系(エリスロマイシン、クラリスロマイシン等)が第1選択薬とされてきたが、以前よりマクロライド系抗菌薬に耐性を有する耐性株が存在することが明らかとなっており、近年その耐性株の割合が増加しつつあるとの指摘もあり、特に小児科の臨床現場に対する影響が懸念される。

診断には特異的IgM抗体迅速検出キットが開発され、臨床現場において活用されてきているが、幼児、学童の初回感染例では発病1週間以内では陰性を示すことが多く、また単一血清で高い抗体価であっても感染の既往を示している可能性を否定できない。最近では、PCR法やLAMP法による遺伝子検出が次第に多くの検査機関で実施されてきており、また平成23年10月からは医療保険の適応となったことから、これらの検査によってより正確な診断が今後さらに普及することが期待される。マイコプラズマ肺炎は、かつては、他の病原体によるものも含まれる「異型肺炎」として発生动向調査が実施されていたが、1999年4月の感染症法施行により、現在の病原体診断に基づく調査となった。現在、マイコプラズマ肺炎のサーベイランスは全国約500カ所の基幹定点医療機関からの報告に基づいている。

2011年第25週以降、マイコプラズマ肺炎の基幹定点からの定点当たり報告数は、1999年4月の感染症発生动向調査開始以来の同時期と比較して最も多い状態が2012年第35週現在まで1年間以上にわたって継続している。2012年第35週の定点当たり報告数は1.09(報告数510)と前週の0.98よりも増加し、昨年同時期の0.74を大きく上回っている。都道府県別では栃木県(5.57)、群馬県(4.25)、埼玉県(3.89)、岐阜県(2.80)、青森県(2.67)、愛知県(2.57)、福島県(2.43)の順となっており、全国平均を上回っているのは関東地方を中心に東日本の地域に多い。

2012年第1～35週の定点当たり累積報告数は30.3(累積報告数14,150)であり、2011年を除けば、既に2000年以降の各年の年間の定点当たり累積報告数を上回っており、また2011年の第1～35週の定点当たり累積報告数17.12(累積報告数7,891)を大きく上回っている。

年齢群別では5～9歳31.4%、0～4歳30.2%、10～14歳18.6%、20～39歳7.8%、60歳以上5.3%の順となっている。2002年から2011年まで10年間にわたって0～4歳の割合が最多である状態が続いていたが、2012年はこれまでのところ、2000年、2001年と同様に5～9歳が最多であり、また10～14歳の報告割合は2000年以降では最多となっている。一方で14歳以下が全報告数の80%前後を占めていることは例年と同様であり、マイコプラズマ肺

炎の報告の中心が小児であることには変わりはない。

2011年のマイコプラズマ肺炎は、夏期休暇終了後にその定点当たり報告数がさらに増加し、第49週のピークを迎え、年間の定点当たり累積報告数は2000年以降のこれまでの最多報告数（2010年、定点当たり累積報告数22.57）を大きく上回るものとなった。2012年は第1週から第35週まで一貫して2011年の報告水準を上回った状態が継続しているが、今後は夏期休暇の終了を迎えることとなり、報告数がさらに大きく増加していく可能性が高い。これからのマイコプラズマ肺炎の発生動向には、より一層の注意深い観察が必要である。

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第37週 平成24年9月10日(月)～平成24年9月16日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(36週)	高知県(37週末累計)	全国(36週末累計)
												H24/1/2～H24/9/16	H24/1/2～H24/9/9
インフルエンザ	インフルエンザ								()	()	979 (0.20)	16,407 (341.81)	1,632,049 (332.46)
小児科	咽頭結核熱				3	5			8 (0.27)	8 (0.27)	1,063 (0.34)	145 (4.83)	38,181 (12.16)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2	13		1	4	20 (0.67)	8 (0.27)	2,545 (0.81)	1,680 (56.00)	206,364 (65.72)
	感染性胃腸炎	2	12	28	3				45 (1.50)	55 (1.83)	9,900 (3.15)	6,338 (211.27)	765,317 (243.73)
	水痘	5	2	9			1	7	24 (0.80)	14 (0.47)	1,555 (0.50)	1,799 (59.97)	139,126 (44.31)
	手足口病				3		1		4 (0.13)	5 (0.17)	2,784 (0.89)	104 (3.47)	42,058 (13.39)
	伝染性紅斑		1	3			2		6 (0.20)	9 (0.30)	209 (0.07)	804 (26.80)	18,549 (5.91)
	突発性発疹		1	9	1	2	2		15 (0.50)	15 (0.50)	2,202 (0.70)	521 (17.37)	64,176 (20.44)
	百日咳		1				1		2 (0.07)	8 (0.27)	135 (0.04)	304 (10.13)	3,018 (0.96)
	ヘルパンギーナ	1	3	12	4	3		4	27 (0.90)	36 (1.20)	3,146 (1.00)	754 (25.13)	103,879 (33.08)
	流行性耳下腺炎			8				5	13 (0.43)	7 (0.23)	1,069 (0.34)	607 (20.23)	53,823 (17.14)
	RSウイルス感染症		2	9	1	1	3		16 (0.53)	16 (0.53)	2,785 (0.89)	668 (22.27)	36,589 (11.65)
眼科	急性出血性結膜炎								()	1 (0.33)	9 (0.01)	1 (0.33)	375 (0.55)
	流行性角結膜炎			2					2 (0.67)	()	410 (0.60)	30 (10.00)	13,502 (19.86)
基幹	細菌性髄膜炎								()	1 (0.13)	18 (0.04)	8 (1.14)	345 (0.74)
	無菌性髄膜炎			1					1 (0.13)	()	17 (0.04)	18 (2.57)	603 (1.29)
	マイコプラズマ肺炎				2			1	3 (0.38)	6 (0.75)	501 (1.08)	154 (22.00)	14,665 (31.40)
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			2					2 (0.25)	()	14 (0.03)	12 (1.71)	575 (1.23)
計		8	24	104	14	12	26	188			29,341	30,354	3,133,194
(小児科定点当たり人数)		(4.00)	(3.43)	(8.82)	(4.66)	(6.00)	(5.00)	(6.00)			(799.28)		
前週		12	28	97	16	9	25		189				
(小児科定点当たり人数)		(6.00)	(3.98)	(8.36)	(5.32)	(4.50)	(4.80)		(6.04)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第37週						計	前週	全国(36週)	高知県(37週末累計)	全国(36週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
インフルエンザ	インフルエンザ									0.20	341.81	332.46	
小児科	咽頭結核熱			0.27	1.67			0.27	0.27	0.34	4.83	12.16	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.29	1.18		0.50	0.80	0.67	0.27	0.81	56.00	65.72	
	感染性胃腸炎	1.00	1.71	2.55	1.00			1.50	1.83	3.15	211.27	243.73	
	水痘	2.50	0.29	0.82		0.50	1.40	0.80	0.47	0.50	59.97	44.31	
	手足口病			0.27		0.50		0.13	0.17	0.89	3.47	13.39	
	伝染性紅斑		0.14	0.27		1.00		0.20	0.30	0.07	26.80	5.91	
	突発性発疹		0.14	0.82	0.33	1.00	0.40	0.50	0.50	0.70	17.37	20.44	
	百日咳		0.14			0.50		0.07	0.27	0.04	10.13	0.96	
	ヘルパンギーナ	0.50	0.43	1.09	1.33	1.50	0.80	0.90	1.20	1.00	25.13	33.08	
	流行性耳下腺炎			0.73			1.00	0.43	0.23	0.34	20.23	17.14	
	RSウイルス感染症		0.29	0.82	0.33	0.50	0.60	0.53	0.53	0.89	22.27	11.65	
眼科	急性出血性結膜炎								0.33	0.01	0.33	0.55	
	流行性角結膜炎			2.00				0.67		0.60	10.00	19.86	
基幹	細菌性髄膜炎								0.13	0.04	1.14	0.74	
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.04	2.57	1.29	
	マイコプラズマ肺炎			0.40			1.00	0.38	0.75	1.08	22.00	31.40	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.40				0.25		0.03	1.71	1.23	
計		4.00	3.43	8.82	4.66	6.00	5.00	6.00		799.28			
(小児科定点当たり人数)		4.00	3.43	8.82	4.66	6.00	5.00	6.00		799.28			
前週		6.00	3.98	8.36	5.32	4.50	4.80		6.04				
(小児科定点当たり人数)		6.00	3.98	8.36	5.32	4.50	4.80		6.04				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869